

特許調査・アプローチの真髄

適切な特許調査におけるテーマ把握
調査目的ごとのヒアリングから検索式策定方法

B
26

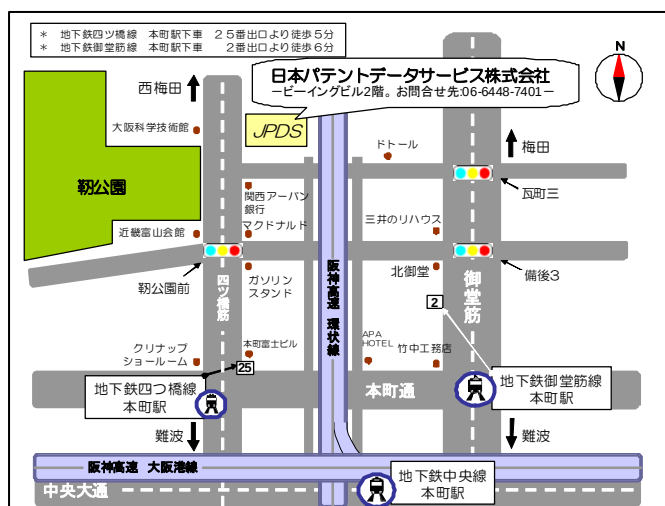
PC
実習

入門 ← レベル → 上級

適切な特許調査を実践するには、特許法の知識、データベースの知識、検索のテクニックのほか、数々のノウハウが必要になります。特許法やデータベースの知識、検索のテクニック以前に、調査で一番大切な「特許調査の目的とその背景」を、きちんと整理・把握して行われていますか？

本講座では、特許調査の目的とその背景を確認するためのインタビューの他、サーチャーが考えるべきこと、サーチャーに必要な資質について、皆さんと一緒に勉強したいと思います。

特許調査の初級・中級者(自己流の中上級者、プロのサーチャーになりたい人であれば初心者でも歓迎します。)



講師：馬場 淳子

元(株)日本電気特許情報センター

場所：当社大阪営業所セミナー室

大阪市西区靱本町1-7-18

ビーイングビル2F

TEL:06(6448)7401 FAX:06(6459)4588

時間：1日間コース(午前10:00～午後4:00)

受講料：20,000円(税別)

定員：20名(先着順申し込み)

日程：2016年2月23日(火)

【申込方法】FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX:03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpds.co.jp
(受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)

【キャンセル】セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。
但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「特許調査・アプローチの真髄」(大阪)申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX: 03-5512-7810)

会社名				部課名			
住所	〒						
TEL				FAX			
参加希望日:	☐ 2016年2月23日						
受講者氏名			所属			特許検索経験 ☐ 有(年) ☐ 無	
E-mail						弁理士番号	
受講者氏名			所属			特許検索経験 ☐ 有(年) ☐ 無	
E-mail						弁理士番号	
支払方法	☐ 単独請求書・銀行振込 ☐ 当日現金 ☐ 合算請求(お取引コード:)						
備考: ※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)							

セミナースケジュール（特許調査・アプローチの真髄）

午前 10 : 00 10 : 05	講師ご紹介 ■特許調査の真髄 ・ サーチャーのあるべき姿 ・ 特許調査に必要な 5 つのポイント ・ インタビューのための準備とコツ ・ 事業の流れに応じた特許調査の種類
11 : 45	昼休憩
12 : 45	■仮想インタビュー（ワークショップ） 調査テーマを設定し、インタビューを実践
14 : 20	休憩
14 : 30	■報告書の作成 ～データベースを使つての報告書作成～ ・ 報告書は誰のもの？ ・ 起承転結、わかりやすい報告書作成のポイント ・ 報告書の活用
15 : 50	質疑・応答
16 : 00	終了

【備考】

- ・ データベースは「JP-NET」を各人 1 台のパソコンを使用しての検索実習を予定しております。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。